



発行所

大阪府衛生管理協同組合
編集事務局・広報部
〒556-0011 大阪市浪速区
難波中2丁目7-25
TEL 06-6633-2460
FAX 06-6633-1652

身の丈と社会投資

大阪府衛生管理協同組合理事長 米田 健 司



本年五月の総会で、理事長に推していただき、さらに二年務めさせていただくことになりました。よろしくお願い申し上げます。

総会などの集まりで皆さんのお顔を拝見しますと、毎年少しづつですが顔ぶれが変わってきてまして、若返ってきたように思えます。外から見ると、あまり変化のない業界のように見られているかもしれませんが、着実に時代が変わっていることを感じます。

さて、私も年のせいとか、昔のこともよく思い出さずようになりまして、休日とかに、親について買い物に行きまして、コロッケを買ってもらうとか、大変嬉しかった思い出があります。それで、ノスタルジーというのか、最近、小さかったころ買い物をした商店街を訪れてみるものが多くなりました。それでいざ訪れてみると、

その昔、買い物客でにぎわっていた商店街がどこもシャッター通りになっております。私は、堺に住んでおりますので、まだそれほどでもありませんが、地方ですと、郊外にショッピングモールが出来ること、一気に町の商店街がシャッター街になり、しかも、地元の衰退に伴って、肝心のショッピングモールまでもが撤退し、揚句に町がゴーストタウン化しているような例もあると聞きます。

このような現象の大きな原因として、人口減少、高齢化という言葉が話題となるようになって、久しくなりました。その対策として、色々な施策が現れていますが、何々センターとか、何々施設を新たに造るとか、ついつい箱モノに依存しているように思えます。ちなみに私は、社会全体が右肩上がりの時ならともかく、下がりかけている時にこれはないだろうという感想を持ちました。

この頃、「下流老人」という言葉が頻繁に使われるようになりましたが、もともと貧しいのもあるけれども、年を取ってからは、さまざまな理由で一気に貧困になることが多いと解説されておりました。中でも、サラリーマンで現役時代年収七百万円程度、言ってみれば中流ですね、その程度の年収のあった方々が一気に下流化することが多いそうです。なまじ、中流の暮らしをしていたために、そのスタイルを替えられない。その上に、サラリーマンで毎月確実に収入があったということ、年を取ってからは生活水準をダウンさせて、年金だけで暮らしていくという感覚が身についていないそうです。

と年金という問題は、これらの日本全体の様々な分野で起こってくるでしょう。つまり社会や経済の空洞化が、排水処理という問題でも起こるのではないかと私は危惧しております。

我々の事業である生活排水対策についてあてはめてみるとうなります。

下水道では、数千人から数万人分におよぶ巨大な処理施設、それに、そこまで汚水を移動させるための下水管網が必要で、それも、巨額の経費が必要で、しかも施工できる企業は限られています。仮に自治体が百億円の予算をかけたとしても、その予算のほとんどは元請けとなる大手企業に落ちてしまいます。これは、実際に使用されるようになってからもあまり変わらないのではないのでしょうか。大規模な処理プラントの制御管理を受注できるところは限られているでしょう。しかも、それが使われなくなれば、残るのは巨大な廃墟です。

浄化槽ですとどうでしょうか。これであれば、施工、維持管理、清掃とすべてのことが地元の中小企業で完結いたします。交付金があるにせよ、地域でまかなわれた資金がよそへ流出することがありません。

財政の地元への還元という面からも改めて浄化槽を見直すべきだと考えております。廃止もその建物だけのことで済みます。

いって見れば、下水道と浄化槽との関係は、人生でいうと、下水道はこれから収入が減っていく時に大きなローンを抱えることに例えられ、浄化槽は百円ショップと日曜大工でつましく暮らすことに例えられると思います。

私の話をお聞きになって、「子孫に美田を残さず」とか「金は天下の回り物」という方もおられるでしょうが、お金というのは天から降ってくるわけではありません。それでも、社会全体が下流老人化して、子供や孫たちにツケを残すことだけは避けたいものです。

私が敬愛する実業家の方の言葉で、

『乗り込んだ船がしょっちゅう水漏れするのなら、穴をふさいでまわることより、船を乗り換えるほうが前向きだ。』

というのがあります。私には、慢性的に浸水している舟を下水道に、新しい船を浄化槽に読み替えることが出来ると思います。そのための新しい技術による浄化槽も開発され下水道となら遜色ないとされております。

我々としても、浄化槽の1層すぐれた維持管理に向けて、さらなる技術向上を図らねばなりません。

「とりかかれば心が燃え上がり、続けていけば仕事は完成する」という言葉もございします。そのため当組合一丸となって力を尽くしていきたいと考えております。

どうかよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、今後の、この業界に新たな展望が開けますこと、また皆さまの益々のご発展を祈念いたしまして私のご挨拶とさせていただきます。

残暑お見舞い申し上げます (平成29年)

顧問	監事	監事	理事	理事	理事	副理事長 総務委員長	理事	理事	理事	副理事長 広報委員長	理事	理事	理事	副理事長 統制渉外委員長	理事長
藤野静男	柿花江美	瓦谷昇次	菅直人	金澤一也	松藤次郎	片山敏	蓬萊谷勝玄	辻貴之	永田伊智朗	野中久泰	齋藤純代	森広治	三ツ川浩一	桤木隆弘	米田健司

理事会のあゆみ

定例理事会の開催状況

- 平成28年4月19日
・平成27年度決算報告及び平成28年度予算案の件
いづれも総会提出の案として承認された。
- 第52期通常総会について
平成27年度事業報告及び平成28年度事業案、総会運営の手順、役割分担について了承された。
- 官公庁人事異動に伴う挨拶回りについて
- 平成28年6月15日
・労務・雇用の法律関係について（理事研修）
「労務・雇用の法律関係」と題し木村顧問弁護士による、解説、質疑応答が行われた。概要については組合ニュース平成29年1月第73号に掲載。
- 大阪府環境水質指導協会第42回総会報告
六月十四日開催の同総会について報告があった。
- 平成28年7月20日
・平成28年度組合事業について
本年度中の組合ホームページ更新を目指すこととなった。
- 盆休み中の組合事務について
- 平成28年9月21日
・平成28年度組合事業（組合ホームページの更新）の進捗について
更新作業中のホームページの経過報告と内容の検討を行った。
- 平成28年10月19日
・平成28年度大阪府清掃事業連合会研修会報告
十月三日開催の同研修会の概要報告があった。
- 平成28年11月17日
・組合ホームページの更新について
試作中のホームページについて表現、レイアウトの他将来構想について検討を行った
- 組合ニュース平成29年1月号について
同ニュースの構成について検討した。
- 平成28年度水環境セミナーについて
大阪府水質指導協会主催の同セミナーの案内があった。
- 平成29年1月18日
・組合ホームページの更新について
ホームページ更新にともなう関係官庁との打合せ状況について報告があった。また、合せて更新後の活用法について検討した。
- 組合員の動向について組合員退会の報告があり承認された。
- バキューム車向け真空ポンプ用潤滑油について
バキューム車の悪臭防止用オイルの使用事例の紹介があった。
- 平成29年2月15日
・組合新年度事業について
来年度も「大清算研修の共催」、「水環境セミナーへの協賛」を行うこととなった。また「事業継続」について理事研修を行い、研修後質疑

疑応答を加えたものを資料にとりまとめ組合員に配布することとなった。

第53期総会について
日程と開催地の検討を行った。

平成29年3月15日
・事業継続計画（BCP）について
BCPについて中小企業団体中央会に講師派遣を依頼することとなった。

理事研修について
「事業の承継」について、法務顧問による研修を実施することとなった。

平成29年度（第53期）通常総会開催
新役員選出される



平成二十九年五月二十四日（水）午後三時、三重県志摩市賢島「宝生苑」にて開催された。

定刻に至り司会の片山副理事長が開会を宣し、本日の出席状況を報告（出席、委任状）、総会の成立を告げた。米田理事長挨拶、祝電披露の後、議案審議に先立ち議長として榎木副理事長が選出された。

第1号議案 平成28年度事業報告が事務局からあり、可否を諮ったところ異議なく承認された。

第2号議案 平成28年度収支決算関係について、組合顧問脇田税理士から説明の後、瓦谷、柿花両監事による監査結果報告があり、可否を諮ったところ異議なく承認された。

第3号議案 平成29年度事業計画案が事務局から説明があり、可否を諮ったところ異

今回の改選による新役員と所属		
役職名	氏名	所属会社名
理事長	米田健司	(株)SYC
副理事長	榎木隆弘	榎木工業(株)
〃	野中久泰	北摂衛生(株)
〃	片山敏	藤野興業(株)
理事	永田伊智朗	(有)永田清掃
〃	三ツ川浩一	(株)三ツ川工業所
〃	辻貴之	(株)両国設備
〃	森広治	(株)ナガタキヤ
〃	齋藤純代	近畿興業(株)
〃	松藤次郎	松藤工業(株)
〃	金澤一也	(株)金澤メルビック
〃	蓬萊谷勝玄	蓬萊谷清掃(株)
〃	菅直人	(有)上野衛生
監事	瓦谷昇次	(株)瓦谷衛生社
〃	柿花江美	岸和田設備工業(株)
顧問	藤野静男	藤野興業(株)

議なく承認された。

第4号議案 平成29年度収支予算案について脇田顧問税理士から説明があり、可否を諮ったところ異議なく承認された。



新理事に菅直人氏が新たに就任した。また監事には瓦谷昇次、柿花江美の両氏が留任した。

総会終了後は、伊勢志摩の美味と名湯でしばしくつろぐ。そのあとも、温泉に出たり入ったりと日頃の疲れをいやす。また、理事長、副理事長打ちそろつての二次会では、かたやポップス対するは演歌と、大バトル。その一方ではききせぬ話題についてい時間をお忘れ。

明けて翌二十五日はしっかりとした小雨の中、内宮参拝。「何事のおわしますかは知らねども かたじけなさに涙こぼるる」の心境。

昼食は、精進落としを兼ねて三重の定番松阪牛を、それも大老舗の牛銀にてすき焼きで頂く。

鹿の子の霜降りに、思わず浮かぶ万座の笑み。一箸口にすると、絶佳の美味に言葉を失う。一座に漂う異様な静寂のみ。

ただ響くは箸の音のみ。

食後は、土産用にと売り場に殺到。思わず女将さんの目が点に。

胃の皮が突っ張れば目の皮がたるむとか。身も心も満たされて、バスに乗り込んだとたん、いかにも心地よく寝息がそここで。ひと時の午睡から覚めれば恒例のビンゴ。

全身に栄養みながらグルメパワーで盛り上がること

中浜清掃日程

九月以降の流注場の清掃予定が次の通りとなった。

投入の各組合員は、日程に合わせ計画的な作業をお願いします。

九月二十日（水）
十一月二十二日（水）
十一月二十四日（水）
三月二十一日（水）

災害対策浄化槽

下水道処理区域内にも

三月二十三日、国土交通省住宅局建築指導課長から「災害時に設ける合併処理浄化槽等の建築基準法上の取り扱いについて」と題し各都道府県部長あて通知が出された。

これは、災害時におけるトイレ・し尿対策として下水道処理区域であっても、浄化槽の設置を認めるというもので、これを受け静岡市では、浄化槽を利用した「非常時生活排水処理槽（浄化槽）」を活用した災害に強いパーフェクトハウスの建設を進めている。

《組合法律顧問から》

組合員及びその紹介を受けた方には、最初の一時間は無料で相談に応じ、その後の費用もその時にお話をさせていただくとのこと。

（顧問弁護士）
大阪市北区西天満4-8-17
宇治ビル11階
はばたき綜合法律事務所
電話 06-6363-7800